

令和5年度 保護者アンケート集計結果

お忙しい中、アンケートへご協力いただきありがとうございました。
アンケートの集計を行いましたので、ご覧ください。
今後の教育保育に役立てていこうと思います。

【回答率 57%】

①当園の本年度の教育保育内容を上記に記載しました。
園の教育保育内容は、お子様の姿を通して伝わっていましたか？

5. 理解できる 59%	4. やや理解している 39%	3. あまり理解できない 2%	2. 理解できない 0%
-----------------	--------------------	--------------------	-----------------

②園の設備、施設に対して

5. 満足している 65%	4. やや満足している 31%	3. あまり満足していない 4%	2. 不満 0%
------------------	--------------------	---------------------	-------------

③清潔、感染症対策等保健衛生面について

5. 満足している 70%	4. やや満足している 24%	3. あまり満足していない 6%	2. 不満 0%
------------------	--------------------	---------------------	-------------

④毎月の園だより等で、園の行事や様子を提示していますが、内容について

5. わかりやすい 72%	4. ややわかりやすい 26%	3. わかりにくい 2%	2. わからない 0%
------------------	--------------------	-----------------	----------------

⑤安心でんじょばとの利用について(情報発信の回数について)

5. 満足している 74%	4. やや満足している 26%	3. あまり満足していない 0%	2. 不満 0%
------------------	--------------------	---------------------	-------------

⑥担任や職員にお子様の相談事や様々なことを聞きやすいですか？

5. 聞きやすい 65%	4. やや聞きやすい 31%	3. 聞きにくい 4%	2. 聞かない 0%
-----------------	-------------------	----------------	---------------

⑦職員は礼儀正しく、身だしなみはきちんとしていますか？

5. そう思う 91%	4. やや思う 9%	3. あまり思わない 0%	2. 思わない 0%
----------------	---------------	------------------	---------------

⑧園提供の給食、おやつ等について

5. 満足している 91%	4. やや満足している 9%	3. あまり満足していない 0%	2. 不満 0%
------------------	-------------------	---------------------	-------------

⑨年間を通してお子様の成長につながる教育保育指導が適切でありましたか？

5. 適切であった 81%	4. やや適切 17%	3. あまり適切でなかった 2%	2. 不適切 0%
------------------	----------------	---------------------	--------------

⑩当園を選ばれたことについて

5. 満足している 70%	4. やや満足している 22%	3. あまり満足していない 7%	2. 不満 0%
------------------	--------------------	---------------------	-------------

上り向指守町自守に設定した「目標」が「なつ」で実践 達成はできたか。また、同じく自身評価を活かして改善できたか。

- ・前年度の反省を活かし目標やねらいをたてていたので達成することができた。
- ・実践はほとんど出来た。達成するには次の月に繰り越すこともあった。前年の反省を踏まえて余裕を持てるように意識した。
- ・期ごとの「ねらい」を意識しながら保育内容を考えたり、生活の中での声掛けを行ったりすることができた。
- ・子ども達の育ちとねらいを意識して振り返りを行いながら保育するように心掛けた。
- ・達成につながるよう助言等できるようにした。自分自身も昨年の反省を活かしながら、保育、保育のサポートができるよう過ごしてきた。
- ・昨年の反省をメモしていたので改善していける部分を全体で話していくようにした。
- ・計画を立て、確認しながら実践し、努力していた。
- ・目標やねらいを確認しながら保育をするように心掛けた。
- ・生活や遊び、行事を通して自分の身のまわりのことをできるようにしたり、言葉での伝え方を知らせたりして実践した。
- ・目標やねらい、また、前年度の反省も活かして取り組めるようにした。成長した部分、もう少し伸ばしたい部分とあるので残り少ない期間を大切にしていく。
- ・担任と共に目標やねらい達成に努力した。
- ・5歳児クラス以外の食育活動を実践できた。前年度にやりたいと考えていたことが実践できなかったこともあるので再度計画を立てて来年度に繋げていく。
- ・概ね守れていた。昨年よりも更に丁寧な関わりを持っていくように心掛けていくようにした。

A-②子どもの状況に応じて柔軟な保育ができたか。また、自身の保育技術向上を必要とした部分はどこかを具体的に挙げる。

- ・状況に応じて対応することを常に意識した。楽しめる活動内容の充実が必要と感じている。
- ・複数担任だった為、よく話し合いを行いながら個々に合わせた保育を心掛けてきた。自身は未満児担任に慣れておらず、日々の活動内容等基本的な所で至らない所も多かったように感じる。
- ・子どもの興味、関心や月齢を意識して日々の保育を行っている。コミュニケーション能力、文章力の向上が必要と感じる。
- ・個別の対応を必要とするお子さんとの関わりが多かったので、こういった関わり支援の仕方が合っているのか自分なりに都度考慮しながら保育にあたってきた。
- ・フリーとして保育に入るのので、そのクラスの年齢に合った保育を考えて子どもと接するようになった。注意や叱るばかりではなく日頃から一人ひとりの子どもの良い面をたくさん見つけて褒め、信頼関係を築く。
- ・子どもの姿を先々の事まで考える事が充分に出来ていなかった。見通しを持つ事が出来ていない事があった。
- ・子ども達の声に耳を傾け、子ども達が好きな物や興味があるものを保育に取り入れることができた。
- ・個別の援助が必要な子等への言葉のかけ方を工夫した保育を行った。場面や情緒の変化に対する関わり方には保育技術向上を必要とした。
- ・子どもの状況に応じた対応をとることができた。適切な言葉遣いや豊かな表現力について

- ・子どもの状況に心した対応をとることができた。適切な言葉遣い、声かけは状況力に依る。
- ・概ね出来ていたと思うが、子どもがトイレへ行く（おむつ替え）を嫌がったりした際、時間がなかつたりすると気持ちの余裕が無くなる事もあった。
- ・考えていた保育を進めながらもその場の子ども達の反応や声も聞き取り入れるようにした。お遊戯会の劇の進め方について他の職員にも話を聞き、より良いものにできると良かった。
- ・子どもに向き合いながら、一緒に保育ができた。
- ・個々の発達、乳児を取り巻く環境を考えた細やかな対応が難しいと感じる。柔軟な保育を心掛けたい。

A-③上司の指示や定められた規則、期限を適切に守る事ができていたか。

- ・期限ぎりぎりになってしまうこともあったが守るよう意識した。
- ・期限日前には提出できるように心掛けている。
- ・規則、期限等は普段から意識しながら取り組んできた。
- ・期限に遅れてしまいご迷惑をおかけしてしまった事があったので、今後は十分注意していきたい。
- ・カレンダーにメ切りを記入し厳守した。
- ・提出期限は、早めに取り組むよう意識し、提出はできていた。
- ・期限あるものは早めに取りかかり期限を守ることができた。
- ・行事の反省や提出物など期限を守った。
- ・規則や期限を守ることができた。
- ・規則に反する行動もあった。期限はギリギリになってしまう事が多い。
- ・期限内に提出できるよう気をつけた。
- ・期日前に提出し、添削していただいた文書の素早く訂正した。配布物は1週間前には準備完了としていた。
- ・規則、期限は守る事はあたりまえの事と思っているので出来た。
- ・できた。
- ・上司の指示や期限を守っていると思います。
- ・聞きながら仕事に取り組めた。
- ・守る事ができた。
- ・守れてはいたが、もっとゆとりをもって行動する。

A-④保護者との連携は十分に取れていたか。不足があったと感じた場合、改善策も合わせて挙げる。

- ・小さなことでも伝えるよう意識した。なるべく直接伝えられるようにした。
- ・登降園の際、積極的に話しかける等コミュニケーションをとろうとする姿勢が足らなかつた。小さな事でも子ども達の姿を伝える等自ら声をかけ信頼関係を築けるようにしたい。
- ・子どもの成長や様子をノートまたは口頭で伝えている。
- ・保護者との関わりでは担任を含め、園としても誠意を持って向き合っても難しい場面が多く見られた。様々なケースを踏まえ、今後も保護者との共通理解や認識への努力は継続しつつ、職員のメンタルヘルスを考え、また、勤務（保育）への意欲がすり減ることがないように対応していきたい。
- ・些細な事でも直接保護者の方に様子を伝えることで、共有ができるよう、積極的に声を掛

け、コミュニケーションがとれるようにしてきた。

- ・自分が保育に入った日は関わった子どもの良い面を積極的に話し掛け、伝えるようにした。
- ・バスの乗車で連絡ミスがあった。普段からはたくさんコミュニケーションを取るようになっていた。
- ・前年度よりも園での様子を保護者の方に伝えることができた。
- ・連絡ノートや送迎時に連絡を取り合い、連携できていた。
- ・朝夕の送迎時に保護者に様子を伝えたり、家庭での様子を聞くことができた。
- ・必要最低限の関わりしか持てなかった。会話をもっとすれば良かった。
- ・子ども達の日々の様子をお会いした時に伝えられるように意識した。こちらの不備などで迷惑をかけてしまったこともあり今後よく確認し、対応するようになっていく。
- ・保護者の質問は、すぐに解決してあげるように、当日中に回答した。安心していただけるような言葉掛けを日々心掛けていた。
- ・とれていた。（ノートで良い時と直接話をするようにした。）
- ・先生方に頼むことが多かったけれど、たまに保護者と関わられたので良かった。
- ・登降園時に言葉をかけるようにし連携を心掛けた。

B. クラス運営評価の視点

B-①保育者間で必要な連携が取れていたか。また、どんな連携を取る努力をしたか。

- ・些細な事でも伝え合うよう意識した。これをしてたら負担が減るかもしれないと思うことをサポートし合った。
- ・子ども達の姿、気になる事等、互いに声を掛け合い共通理解を深めたり、何事も話し合い、確認し合いながら進める努力を行ってきた。
- ・朝や昼時間に保育内容や子どもの様子を伝え合っている。
- ・クラスの中の気になる事や確認したいことはこまめに聞き、担任と共有したり、同じ方向性での保育ができるようになってきた。
- ・仕事以外の話をたくさんしてもっとコミュニケーションをとれば良かった。
- ・連携ではペアの先生に情報共有等で迷惑をかけてしまう事があった。すぐに、報・連・相するようになっていく。
- ・担任間でこまめに情報共有するようになった。
- ・子どもの様子を伝え合った。人数確認をする際、全員がいるか声を掛け合うようにした。
- ・細かいことでもしっかり伝え連携を取り合うことができた。
- ・わからないことがあれば、そのクラスの担任にきいていくようにしていた。
- ・朝や保育後等の時間を見つけ子ども達の様子や連絡ごとなど話すようにした。
- ・全部任せるのではなくよく打ち合せをすれば良かった。
- ・いろいろなことを教えてもらいながら、クラスのことを行った。
- ・小さなことでも報告し情報を共有し話し合う機会を作った。

B-②必要な情報を共有し、クラス以外の職員への共通理解、認識ができたか。

- ・ミーティングや会議等で伝えた。
- ・複数担任であった為、任せきりになってしまった部分もある。担任として責任を持ち何事

も職員全体への周知が行えるよう改善していきたい。

- ・担任会議やミーティングで、クラス以外の職員へ情報共有している。
- ・些細な事でも職員間で情報共有ができるよう、発信を促したり、働きかけてきた。
- ・少しでも気になることがあれば周りの職員に相談するようになった。
- ・何かあった際には、すぐに上の先生へ伝えるようにしていた。
- ・ミーティングや会議を通じてクラスでの活動や子ども達の様子について発信するようになった。
- ・会議やミーティングでクラスの情報を発信した。
- ・ミーティングや担任会議等で情報を共有することができた。
- ・何かあれば伝えていくように努めていた。
- ・クラスの出来事等全体に発信するべきことがあればミーティングや会議の際に伝えた。
- ・他のクラスでも、子ども達と楽しめて職員にも教えていただきながら行った。
- ・できていた。

B-③保育室の環境構成についてどのような構成を行い、評価できたか。

- ・季節を感じられるようにした。（刺激とならない程度に）。自分自身にもう少し努力が必要だった。
- ・生活の流れの導線がつかみやすいような場所の使い方を行った。数回席替えを行い友達との交流関係を広げたり、落ち着いて過ごせる環境づくりを行った。
- ・自由遊びの際に、絵本、ままごと、ブロック等子ども達の興味関心に合わせて配慮する。
- ・絵本等、季節に合ったものを取り入れる様、入れ替えを行ったり、子ども達に刺激になるようなものが少なくなるよう、目隠しをしたり、見える所に置くものを少なく…と心がけてきた。
- ・廊下の絵本棚、トイレのサンダル揃え等、歩きながら確認するようになった。
- ・子ども達の怪我がないよう高い所への物の配置の仕方を注意していた。
- ・子ども達が集中することができるようにもう少し整理整頓するようになっていきたい。
- ・季節毎に壁面を工夫したり、ホワイトボードの掲示が多くなりすぎないようにした。
- ・安全面を強化したり、感染症にも気をつけた。
- ・設置物等、毎日気をつけて置いていくように心掛けた。
- ・季節に合った壁面などにできるようにした。玩具の置き場所等子ども達が集中できるよう気をつけた。
- ・気になる所は掃除や片付けができた。
- ・安全に生活できるように、危険な所はすぐに改善し、子ども達が安全に楽しく生活できるよう工夫した。

B-④十分な話し合いの上で計画の作成・実践・評価・改善ができたか。

- ・その都度クラスの状況を話し合いながら行うことが出来た。
- ・普段の会話の中でも子ども達の姿を確認し合い、計画、評価、改善を行うことができた。
- ・作成、実践、評価は十分な話し合いができた。改善についての話し合いがもっと必要と感じる。
- ・今年度は携わっていません。
- ・余裕を持って作成することで見直し時間を掛けられるようにした。

- ・ミスがあり、十分ではなかったが、色んな先生に聞いて、計画、実践していた。
- ・担任間でいつ何をするか、どのように進めていくか話し合い計画を立てることができた。
- ・クラスや子ども達の様子について考慮した上で計画や実践できた。
- ・しっかりと話し合い計画を立てたり、実践し、改善することができた。
- ・十分な話し合いを行いながら保育を行うようにしていた。
- ・子ども達の様子や取り入れる活動等を話し合い作成するようにした。
- ・話をしながら保育に取り組みました。
- ・できた。

C. 園全体評価の視点

C-①園全体の行事内容、及び運営は適切に行われていたか。

- ・行事等は担当の保育者から早い段階で準備を始め、滞りなく行われていたように感じる。
- ・コロナ対策が緩和されたことを踏まえた内容になっていたように感じた。
- ・行事、運営に関して適切に行われていたと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、新たな園行事や運営となった。それぞれの行事内容を見直し、取り組みも試行錯誤しながら進めてきた。行事後の保護者アンケート内容から概ね適切に行われたと感じる。
- ・コロナの制限が解かれ、保護者参加の行事も制限なしで行う事ができていたり、様々な行事に向けてより良いものをと、職員全員で取り組んでいると思う。
- ・どこまで担当に任せ方が良いのか、いつも判断に迷うことがある。（見守ることで行事担当の責任者としての力を伸ばしたい為）
- ・行事内容は、去年のを思い出しながら把握することが出来ていた。担当では、不行きな面が沢山あり迷惑をかけてしまう事があった。
- ・日々の保育や行事等協力し合っておこなうことができたと思う。
- ・5類になったことで感染対策や参加の仕方をその都度に応じて運営できていた。
- ・運営について適切に行うことができていた。
- ・適切に行われていた。
- ・運動会、お遊戯会など大きな行事では開催の仕方、進め方について確認しながら取り組むことができた。
- ・昨年、一昨年の反省を踏まえ「前回よりも今回」とより一層、環境の良い園となっている。
- ・皆で話し合いや打ち合わせをしていたのでスムーズに出来ていたと思う。
- ・行われていたと思う。
- ・参加できなかった行事もあったが、参加させていただきました。
- ・できていた。

C-②情報を必要とする人に十分な情報の提供ができていたか。

- ・出来ていた。
- ・保護者の方からの声十分に耳を傾け、必要な情報を提供したり、話をする場を設けたりしていた。
- ・会議等で必要な情報を知らせていた

・云職守の心女は情報を知ることにこだわっていた。

- ・保護者への情報提供は全体への発信の他に個別対応がより手厚く進められると良かった。
- ・立場、状況に応じて情報は提供させていると思う。
- ・今までと変更したところなどがある際には質問されてしっかり答えられるようにまず自分が納得できるまで理解して備え、伝えるようにした。
- ・些細な事でも報・連・相をするよう意識していた。
- ・ミーティングや安心でんしょぼとの発信を通して情報の提供ができていたと思う。
- ・話し合い等を通じて情報を提供できていた。
- ・十分な情報提供ができていた。
- ・適切に提供する事ができていた。

・ミーティングや会議の内容について伝え忘れがないよう気をつけた。パートの職員にももれなく伝えられるよう気をつけたい。

- ・重要な情報は相手にわかりやすく伝え、共有しあえた。
- ・関わる時には細かく情報があつたので良かった。
- ・できた。
- ・朝のミーティングで詳しく説明して十分な情報を得ることができていた。
- ・でんしょぼと等を通して行われていた。
- ・できていた。
- ・自分の分野の当たり前が、そうでない他職種の職員にも伝わるようにしているがまだ十分ではない。

C-③園内外の関係機関と連携に向けて必要な努力をすることができたか。

- ・出来ていた。
- ・外部の方を招いての行事等も滞りなく行われていた。特別支援係の機関とも連携がとれていたように感じる。
- ・園内外の機関とも連携がとれるように努めていたと感じる。
- ・園外の機関との連携はその都度行い、園児や保護者支援も含めて進めてきた。
- ・園外の関係機関とも密な連携がとれていると感じる。
- ・「この情報は知っていた方が良い」など相手の立場になって判断し、提供することができた。
- ・今年度は園外の方と直接やり取り等なかったが、園にみられた時には、挨拶等行っていた。
- ・園外の関係機関とあまり連携をとることができなかつたので、連携に向けて努力するようにはしていきたい。
- ・分科会での情報交換を通して連携するようにした。
- ・関係機関と連携がとれていた。
- ・特に関わりを持つ機会が無かつた。
- ・小学校就学に向け、小学校さんと情報を共有したり、疑問点を聞いたり連携することができた。
- ・園外の方々と情報共有も怠ることなくできた。
- ・できていると思う。
- ・行われていたと思います。

・できていた。

- ・できていた。
- ・時間に余裕を持たせて連絡をとること、明るく接すること、当たり前な事をいつも心に留めて接することができた。

C-④園生活の危機管理に対し、共通理解や対応ができていたか。

- ・敏速に対応していると思う。
- ・時々共通理解となっていないこともあったが、それを踏まえて再度発信し共通理解へとつなげることが出来ていたように感じる。
- ・何かあった際はすぐにミーティング等で情報共有され、職員全体への周知がしっかりと行われていた。
- ・全体で話し合っ改善に努めることができていた。
- ・感染症対策、不審者対応、不適切保育について等、年間を通して対策と訓練・研修や毎月のチェックを続けてきた。様々な面での「想定外」を減らしていく努力を今後も続けていく。
- ・職員全員で確認することで、共通認識ができていたと思う。
- ・わくつ山の使用ルール等危険を予測してから使用することで安全面に配慮できていると感じる。
- ・危機管理は常に意識し、理解しているがすぐに対応できるようにする。
- ・災害時等を想定して避難訓練を行うことで共通認識ができていたように感じる。
- ・話し合いの中で共有された危機管理を日々意識して対応するようにした。
- ・共通理解することができていたのでもしっかりと対応することができた。
- ・出来ない事も一部あったが、他は努めていくようにしていた。
- ・保育中の怪我や、怪我につながりそうな行為があったことがあり防ぎきれないことがあった。今後クラス内でもよく注意し合いきをつけていく。
- ・職員一人ひとりが確実に理解していたのか、確認できなかったため、来年度はチェックリストを用いて共通理解に努めたい。
- ・色々な事を想定して数回出来たので理解した。
- ・できた。
- ・ほぼ出来ていたと思います。
- ・出来ていたと思います。
- ・出来ていた。
- ・十分でないと感じることが多々あるのでしっかりと対応したい。（時間を作って勉強会等やりたい）

その他

- ・コロナ禍が明け、今後は新しい園としての方向性も求められることがあると思うので職員全体で意見を出したりより良い園にしていきたい。
- ・できる人だけが、気づき行動するのではなく、みんなで気づき、伝え合える現場になっていくと良いなと思います。（4月から新人さんも入ってくるので…）“これでいいんだ”とならないように声を掛け合っていると保育も、それ以外のところも、もっと良くなっていくのかなと思います。
- ・給食提供の時点でも、年々での進歩状況をきちんと理解共有することに、皆で努力しました。

・私は冷静さを失うと連続ミスをしてしまい他の職員に迷惑をかけてしまい申し訳なかったです。信頼を裏切ることになってしまい自分が許せなかったです。落ち着いて物事に取り組めるよう努めたいです。

・今年度はS先生が11月まで在宅勤務のため、Kさんが給食室の中心となり、未満児未食の件では二人で何度も再確認をし、アレルギー対応等毎日神経を使って調理をしてくれるのでほんの少しでも力になればと日々三人で頑張ってきました。本当にお疲れ様でした。

(公表用)

岩手県福祉サービス第三者評価の結果

① 第三者評価機関名

わくつこども園第三者評価委員

鈴木喜代

加藤アヤ子

② 施設・事業所情報

施設名称:公私連携幼保連携型認定こども園 わくつこども園

種別:教育・保育

代表者氏名:園長 菊池昌弘

定員数:85名

所在地:〒029-3205 一関市花泉町涌津字悪法師38-312

TEL:0191-82-4143 ホームページ: <http://www.wakutsu.jp/>

【施設・事業所の概要】

開設年月日:平成31年4月1日

経営法人・設置主体:社会福祉法人洗心福祉会 理事長 菊池昌弘

職員数 名

常勤職員: 14

非常勤職員: 11名

専門職員

園長 1名

副園長 1名

主幹保育教諭 1名

副主幹保育教諭 1名

保育教諭 13名

保育補助 1名

管理栄養士 1名

調理師 1名

調理補助 2名

事務員 1名

バス添乗員 1名

用務員 1名

③ 理念

○ 保育理念

「仏の教えにふれて 素直な心 相手を思いやる心を 育む」

④ 第三者評価の受審状況

評価実施期間

令和5年 4月 1日～

令和 6年 3月15日(評価結果日)

⑤ 総評

◇ 特に評価の高い点

・安定した運営ができています。

◇ 改善が求められる点

・地域との交流機会が増えていけるとよいのでは。

⑥ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

令和5年度は年度中に感染症対応が変更し、制限のない保育運営が行えるようになってきた。
今後は園内外での活動も視野に入れ、地域交流や地域貢献に繋がるような事業を進めていきたい。
また、第三者評価委員の研修参加や機会を積極的に行っていく。
(第三者評価委員の1名が療養中の理由で評結果未提出。)

⑦ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

三者評価結果

事業所名:わくつこども園

共通評価基準(45項目)

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

a・

b・c

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。

第三者評価結果

【1】 I-1-(1)-①

理念、基本方針が明文化され周知が図られている。

a b c

2

<コメント>

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

第三者評価結果

【2】 I-2-(1)-①

事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。

a b c

2

<コメント>

【3】 I-2-(1)-②

経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。

a b c

2

<コメント>

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

第三者評価結果

【4】 I-3-(1)-①

中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。

a b c

1 1

<コメント>

【5】 I-3-(1)-②

中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。

a b c

1 1

<コメント>

【6】 I-3-(2)-①

事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。

a b c

2

<コメント>

a b c

2

【7】 I-3-(2)-②

事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。

<コメント>

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

第三者評価結果

【8】 I-4-(1)-①

保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。

a b c

2

<コメント>

【9】 I-4-(1)-②

評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。

a b c

2

<コメント>

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。

第三者評価結果

【10】Ⅱ-1-(1)-①

施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。

a b c

2

<コメント>

【11】Ⅱ-1-(1)-②

遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。

a b c

2

<コメント>

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

【12】Ⅱ-1-(2)-①

保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。

a b c

2

<コメント>

【13】Ⅱ-1-(2)-②

経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。

a b c

2

<コメント>

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

第三者評価結果

【14】Ⅱ-2-(1)-①

必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。

a b c

2

<コメント>

【15】Ⅱ-2-(1)-②

総合的な人事管理が行われている。

a b c

2

<コメント>

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

【16】Ⅱ-2-(2)-①

職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

a b c

2

<コメント>

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

【17】 II-2-(3)-①

職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

a b c

2

<コメント>

【18】 II-2-(3)-②

職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。

a b c

2

<コメント>

【19】 II-2-(3)-③

職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。

a b c

2

<コメント>

(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

【20】 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。

a b c

2

<コメント>

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者評価結果

【21】 II-3-(1)-①

運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。

a b c

2

<コメント>

【22】 II-3-(1)-②

公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。

a b c

2

<コメント>

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。

第三者評価結果

【23】Ⅱ-4-(1)-①

子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。

a b c

1 1

<コメント>

【24】Ⅱ-4-(1)-②

ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。

a b c

1 1

<コメント>

(2) 関係機関との連携が確保されている。

【25】Ⅱ-4-(2)-①

保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。

a b c

2

<コメント>

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

【26】Ⅱ-4-(3)-①

地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。

a b c

1 1

<コメント>

【27】Ⅱ-4-(3)-②

地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。

a b c

1 1

<コメント>

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

第三者評価結果

【28】Ⅲ-1-(1)-①

子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。

a b c

2

<コメント>

【29】 III-1-(1)-②

子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。

a b c

2

<コメント>

(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。

【30】 III-1-(2)-①

利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。

a b c

2

<コメント>

【31】 III-1-(2)-②

保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。

a b c

2

<コメント>

【32】 III-1-(2)-③

保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。

a b c

2

<コメント>

(3) 利用者満足の上昇に努めている。

【33】 III-1-(3)-①

利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。

a b c

1 1

<コメント>

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

【34】 III-1-(4)-①

苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

a b c

2

<コメント>

【35】 III-1-(4)-②

保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。

a b c

2

㇏

<コメント>

【36】 III-1-(4)-㉓

保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。

a b c

2

<コメント>

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

【37】 III-1-(5)-㉑

安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

a b c

2

<コメント>

【38】 III-1-(5)-㉒

感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

a b c

2

<コメント>

【39】 III-1-(5)-㉓

災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。

a b c

2

<コメント>

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

第三者評価結果

【40】 III-2-(1)-㉑

保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。

a b c

2

<コメント>

【41】 III-2-(1)-㉒

標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。

a b c

2

<コメント>

(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

【42】 III-2-(2)-①

アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。

a b c

1 1

<コメント>

【43】 III-2-(2)-②

定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。

a b c

1 1

<コメント>

(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

【44】 III-2-(3)-①

子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。

a b c

2

<コメント>

【45】 III-2-(3)-②

子どもに関する記録の管理体制が確立している。

a b c

2

<コメント>

